

2019年(令和元年)11月24日(日曜日)

女性法律家が仕事の内容や魅力を語るイベント「来たれ、リーガル女子！」が、名古屋市中種区の名古屋大アシア法交流館で開かれた。第一線で働く女性たちの言葉に、法曹界を目指す中高生らが聞き入った。写真。

第一部では、愛知県弁護士会元会長の池田桂子さん(六三)が「女性弁護士の歩みとその魅力」と題して基調講演した。池田さんは、司法試験の合格者に占める女性の割合が、一

## 「リーガル女子」魅力は

女性法律家が中高生らに講演



九七五年の5%から二〇一九年には24%に増加したと紹介。一方で、女性弁護士がいない地方裁判所支部が六十一カ所あると課題を指摘し、「重要

なことを決める会議に男性ばかりが参加していたら、どう思いますか。ジェンダーバイアスがなくなることが重要ではないでしょうか」と問い掛けた。

大成高二年の佐々木涼葉さん(一七)は「忙し過ぎるのかな」と思っていたけど、話を聞いて休みもちゃんと取れるならいいなと思った。検察官に憧れるけど、まだ考え中」と話した。

仕事の魅力を「さまざまなお人にお会いする喜びや、ライフワークと言えるやりがいのある仕事に出合える」と話し、「女性ならではの感性、真面目さ、誠実さが求められる」と紹介した。

内閣府や日本弁護士連合会、愛知県弁護士会などが主催。愛知県などから中高生と保護者の計百二十三人が参加した。

第二部では女性の裁判官と検察官、弁護士が働き方や法

と紹介した。